オルケストラ　シンフォニカ　東京

第 55 回

定　期　演　奏　会

平成 26 年 4 月 13 日（日）午後 2:00 開演

第一生命ホール

ＯＳＴの歴史

1915(大正　4)年　9月：武井守成*1楽団創設

1916(大正　5)年　4月：楽団名をシンフォニア・マンドリニ・オルケストラと称する

1923(大正 12)年 11 月：楽団名をオルケストラ・シンフォニカ・タケヰに改称

1949(昭和 24)年 11 月：戦後初めての定期演奏会開催(第 49 回)

1949(昭和 24)年 12 月：武井守成　逝去

1953(昭和 28)年　5月：オルケストラ・シンフォニカ・タケヰ　第 55 回演奏会開催

1954(昭和 29)年　　：杉並マンドリンアンサンブル創立

1955(昭和 30)年 10 月：杉並マンドリンアンサンブル　第 1 回演奏会(通算 56 回)

1956(昭和 31)年　7月：オルケストラ・シンフォニカ・タケイに改称　第 57 回演奏会開催

1958(昭和 33)年 12 月：オルケストラ・シンフォニカ・タケイ　解散

1959(昭和 34)年 12 月：杉田村雄*2オルケストラ・シンフォニカ・タケイを復興
本楽団第 1 回定期演奏会開催

1986(昭和 61)年　7月：杉田村雄　逝去

1987(昭和 62)年　5月：楽団名をオルケストラ・シンフォニカ・東京に改称

2014(平成 26)年　4月：第 55 回定期演奏会開催

＊1）武井守成（たけい もりしげ：1890年10月11日～1949年12月14日）

枢密顧問官武井守正の二男として鳥取に生まれる。宮内省楽部長・式部官長、男爵。

マンドリン合奏団『オルケストラ・シンフォニカ・タケヰ』(ＯＳＴ)を主宰し、マンドリン合奏曲・ギター独奏曲の作曲家として活動。また雑誌『マンドリンギター研究』を発刊し、1923 年にマンドリン合奏コンクール、1924 年に作曲コンクール、1927 年にはマンドリンオーケストラ作曲コンクールを開催してマンドリン・ギター音楽の発展に尽力した。

＊2）杉田村雄（すぎた むらお：1903年2月14日～1986年7月17日）

八王子・南多摩郡多摩村の村医杉田武雄の長男として生まれる。

暁星中学時代、クラスメートの斉藤秀雄とともに比留間賢八に師事、2 人で暁星マンドリン倶楽部から静美社音楽部へと音楽活動を進める。

1939 年ＯＳＴに入団。戦時中、武井守成氏の多摩村東寺方への疎開に尽力し、音楽関係楽譜・資料も戦火を免れる。

武井氏逝去後、ＯＳＴの再興にあたり理事長および指揮者を務める。武井氏の楽譜出版に尽力。日伊音楽協会理事長、日本マンドリン連盟副会長を歴任し斯界に貢献された。

プログラム

第　一　部　　指揮：　嶋　　直　樹

1. アンダンテ・フェスティーヴォ　　J．シベリウス　作曲（嶋　直樹編）

2. ルーマニア民俗舞曲　　B．バルトーク　作曲（嶋　直樹編）

3. クラリネットポルカ　　ポーランド民謡（嶋　直樹編）

4. シベリア狂詩曲　　G．イワノフ　作曲
（歸山榮二編・嶋　直樹改編）

5. 木犀（もくせい）　　武井守成　作曲

6. 春燈の下　　武井守成　作曲

7. ゆれる一輪の花　　武井守成　作曲

《　休　　憩　　20分　》

第　二　部　　指揮：　石　井　啓　之

1. Pastoral Fantasy（2010）　　藤掛廣幸　作曲

指揮：　山　本　雅　三

2. ローレライパラフレーズ　　J．ネスバドバ　作曲（ラニエリ編）

3. 風の丘　　久石　譲　作曲（山本雅三編）

4. 妖精たちの谷の一夜　　F．ジュリアン　作曲

曲　目　解　説

第 一 部

アンダンテ・フェスティーヴォ　　J．シベリウス

Ｊ．シベリウス（1865年～1957年）はフィンランドを代表する作曲家ですが、祖国フィンランドがロシアからの独立を果たしたのは1917年、シベリウス52歳の年でした。この曲が作曲されたのは1922年。ある記念行事のために弦楽四重奏曲として書かれ、その後弦楽合奏にティンパニーを加えた編成に書き直されました。

フィンランドの音楽は、ロシアとスウェーデンという大国に挟まれている故におこった多くの歴史に左右され、その中で生み出された独自のものであると言われています。

フィンランド国旗は湖の青さと雪の白さをイメージしたもの。清々しい空気が感じられるような響きをお聴きください。（参考文献：「フィンランド音楽史」金勝渓子）

ルーマニア民俗舞曲　　B．バルトーク

Ｂ．バルトーク（1881年～1945年）はハンガリー生まれの作曲家ですが、民俗音楽研究家としても知られています。この「ルーマニア民俗舞曲」は当時ハンガリー領であったルーマニア各地の民謡を題材にして作られた７つの舞曲からなっていますが、通常はほとんど繋げて演奏されます。もともとはピアノ曲でしたが弦楽合奏や管弦楽用など多くの編曲がなされています。

Ⅰ 棒踊り　Ⅱ 帯踊り　Ⅲ 足踏み踊り　Ⅳ 角笛の踊り　Ⅴ ルーマニア風ポルカ　Ⅵ 速い踊り　Ⅶ 速い踊り

民俗音楽特有な和声が独特な旋法により表現されている名曲です。

クラリネットポルカ　　ポーランド民謡

クラリネットの独奏や合奏曲として良く聴かれる曲ですが実はその成立には諸説がありはっきりとはわかっていないのです。ただどの説にもポーランドが絡んでくるため、今回はポーランド民謡と記載しました。ＯＳＴの誇るクラリネット奏者、福嶋美香さんにソロをお願いしました。

シベリア狂詩曲　　G．イワノフ

この曲は元々ロシアの作曲家Ｇ．イワノフが管弦楽用に作曲したものですが、同国でロシア民族楽器オーケストラ用に編曲され、更にそれを歸山榮治氏がマンドリン合奏のために編曲しました。近年、多くのマンドリン合奏団で取り上げられておりますのでＯＳＴでも挑戦してみました。歸山氏の編曲ではオーボエやアコーデオンなども入れられておりますが本日はそれらを省略し、クラリネットとピアノを加えた編成で演奏します。

教会の鐘を思わせる音形もあり、寒い冬、雪の中を橇（そり）でクリスマスミサに向かう光景が浮かびます。さまざまな風景を思いながらお聴きください。

武井守成作品より

今回は、武井作品の中であまり演奏されていないものを取り上げました。

「木犀（もくせい）」

1947年作曲。「都心を離れたこの山村には到るところ木犀のあの懐かしい香りが満ちていた」という作者の言葉が残っています。戦時中、武井氏は都下南多摩郡多摩村に疎開していました。その思いを曲にしたのでしょう。

「春燈の下」

1947年作曲。もともとはギター独奏曲として作られました。「春燈」という季語がありますが、春の夜をともす灯し火のこと。春の華やかさとともに艶めいた感じがあるとのことですが、この曲はどうでしょうか。

「ゆれる一輪の花」

1932年作曲。「一輪の花のかすかにゆらぐ幻想を主観とせるもの」という言葉の通り、フルートとピアノ・ギターがかすかに揺れる様を表現しています。9月に完成したこの曲ですが花は秋桜でしょうか。穏やかな風景の中に揺れる花。それを見つめる自分の感情は決して穏やかなだけではないように感じられます。そういう感情を持つことを恥じるような作者の表現が武井作品の特徴なのかもしれません。

（文責　嶋）

第 二 部

Pastoral Fantasy (2010)　　藤掛　廣幸

この作品は、藤掛廣幸マンドリン第二作目の作品で、1975 年６月から７月にかけて作曲、東海学生マンドリン連盟のコンサートで８月に初演されました。作曲中には、イメージの中に初夏のみずみずしい新緑がありました。曲名の由来は、牧歌的な第一部のテーマがこの曲の抒情の核となっている為です。

自由に聞いてくだされば よいのですが、全体の構成等は、

１　最初の牧歌的なアンダンテ、

２　フーガに始まり自在に展開していく第二部、

３　そしてパストラルテーマの感動的な再現を経て、

４　力強いコーダへ

と流れ込んで行きます。

『しかし、この曲は、それらには関係なく、演奏する人、聴く人がそれぞれ自由なファンタジーをふくらませてゆけばよいのであって、何らか、精神的に豊かなものを、聞く人にもたらすようなことがあれば、作曲者にとっては最大の喜びです』（藤掛廣幸先生自身による解説）

この曲は、1976 年１月 11 日の関東マンドリンフェスティバルに合わせて行われた日本マンドリン連盟主催第一回作曲コンクール授賞式で最高位を受賞し、その発表演奏を当時のＯＳＴ（オルケストラシンフォニカタケイ）が行いました。東京での初演でした。

本日は、後輩の私たちＯＳＴ（オルケストラシンフォニカ東京）がそれ以来の演奏をさせていただきます。メンバー全員が心を込めて演奏したいと思います。お楽しみ頂ければ幸甚です。

なお、藤掛廣幸先生より「皆さんで仲良く楽しんで演奏して頂ければ最高に嬉しく思います」とのメッセージをいただきました。

（文責　石井）

ローレライパラフレーズ　　J. ネスバドバ

有名な歌曲ローレライ

「なじかは知らねど心わびて　昔のつたえはそぞろ身にしむ

さびしく暮れゆくラインのながれ　いりひに山々あかくはゆる」

ドイツのライン川中流のそびえる岩山にたたずみ、行きかう舟人たちを甘い歌声で惑わし遭難させる美しくも妖しい水の妖精の伝説を歌っています。

この曲を元にパラフレーズ（楽曲を演奏用に自由に展開、変奏し構成した曲）として作られた曲を、「ワルソーの思い出」の作曲で著名なローマ生まれのマンドリニスト・ラニエリが見事にマンドリン合奏用に編曲しました。マンドリンの為に書かれたオリジナル曲と同等の高い人気を誇る演目になっています。

風の丘　　久石　譲

1989 年公開の宮崎駿アニメ「魔女の宅急便」のイメージアルバムの 1 曲。

魔女の血を受け継ぐ女の子が『13 歳の満月の夜に魔女のいない町を見つけて定住し、魔女の修行を積むべし』という古くからのしきたりに従って旅立ち、見知らぬ街で多くの人に助けられながら成長していく物語です。映画のラストシーンのセリフ「落ち込んだりもするけれど、私、この街が好きです。」映画に使用されたサウンドトラックでは『海の見える街』の曲名です。

妖精たちの谷の一夜　　F. ジュリアン

次のような情景を描いています。

「人里離れた山奥の奥、妖精たちが住むという谷がありました。

夜が更けて、暗闇が辺りを支配する頃、魔女の呼びかけにこたえるように妖精の女王が妖しく現れます。お付きの鬼火はまるでダンスを踊るかのようにあたりにゆらめきます。身振り手振りを交えた魔女の祈祷はさらにつづき、

木の、草の、岩の、水の、動物の、無数の精霊たちが真夜中の谷間を行き交います。やがて鳥の声が聞こえてくる頃、天使の鐘が鳴り響き夜明けを告げます。谷間に朝日が差し込むと、あたりはまるで何事もなかったかのように、明るく平和な谷にもどっているのでした。」

フランスの作曲家ジュリアン（1871年～1957年）作曲のマンドリンオリジナル曲です。幻想的な伝説の抒情詩の副題を持ち、原題直訳は「地獄谷の一夜」ですが、ファンタジックな曲想から想像をふくらまし、今回の演奏では曲名を「妖精たちの谷の一夜」といたしました。

（文責　山本）

《第56回定期演奏会のお知らせ》

◎日時:平成**27**年**4**月**12**日(日)午後 2:00 開演 ◎会場:第一生命ホール(晴海・トリトンスクエア)

出　演　者

指揮者:	山本雅三	嶋　直樹	石井啓之	
コンサートマスター:	諸井美津江	田中尊子		
第一マンドリン:	諸井美津江	田島明子	本間輝樹	金勝渓子
	田中尊子	小松崎美奈子	大口千秋	新美恵子
				神敏子
第二マンドリン:	冨田容子	木村栄子	高嶋明美	高嶋典子
	後藤俊明	中村順子	渡辺かおる	岩崎宏子
				嶋　直樹
マンドラテノール:	滝田ふさ子	佐々木興治	新谷文子	阿形佳美
	田中倭文子	深野靖夫	伊藤安子	荏本妙子
			宮澤八重美	★樺澤とも子
ギター:	原島美歩	戸次　脩	船崎　薫	瀧澤拓磨
	平田陽一	門田雄二	木下亜紀子	澤田行雄
			五十嵐豊	山本雅三
リュートモデルノ:	吉尾　浩	高梨一弘		
マンドロンチェロ:	田村美恵子	須賀勇介	坪井秀介	
マンドローネ:	家城孝治	小川眞寿美		
コントラバス:	佐藤　正	石黒不二夫	石井啓之	★樺澤とも子
フルート:	★西村いづみ			
クラリネット:	★福嶋美香			
ピアノ:	★浦畠晶子			
打楽器:	★橋本直樹	★田中恵利加	★畔柳陽子	

（★=賛助奏者）

幹事:	平田陽一(代表)	本間輝樹	山本雅三	嶋　直樹
	船崎　薫	小松崎美奈子	阿形佳美	
会計監事:	後藤俊明			

オルケストラ　シンフォニカ　東京（ＯＳＴ）

連絡先：〒215-0017　川崎市麻生区王禅寺西5-21-1　　平田陽一

ＴＥＬ：044-989-1987　　E-MAIL：chokoku@jcom.home.ne.jp

ホームページ：http://ostokyo.info/